

◇ 世界かんがい施設遺産登録

平成28年11月8日に「世界かんがい排水委員会」の国際執行理事会において「明治用水」が世界かんがい施設遺産に登録された。100年以上にわたりこの地域のかんがい農業の発展に貢献し、また、「人造石」と呼ばれる卓越した技術により造られた施設とその管理組織などが評価された。



旧頭首工全景



海産物・薪炭などの物資を川船に積んで運んだ



現存する明治用水旧堰堤左岸土砂吐と船通閘門の一部

◇ 国営矢作川総合第二期農地防災事業

この地域は東海地震等大規模地震の発生する確率が極めて高い地域であり、大規模地震の発生により基幹的な農業水利施設が損壊した場合、住宅・工場・公共施設等への二次災害が想定され、甚大な被害を及ぼすおそれがある。国営矢作川総合第二期農地防災事業は、明治用水頭首工や幹線用水路等、大規模地震に対して耐震性を有していない施設の耐震化対策を行い、大規模地震の発生による災害を未然に防止する事業である。



◇ 明治川神社

明治用水の完工を祝い、松方正義内務卿参列のもと用水路竣工の式（水源）と、祝賀の宴（現地）が盛大に挙行された。明治18年（1885）に創建された明治川神社は、毎年4月18日に開削者の遺徳を偲び大祭が行われている。

祭神として水に由縁の深い神、大水上祖神、水分神、高麗神と開削功労者の都築弥厚命、伊豫田与八郎命、岡本兵松命、西沢真蔵命の7柱そして伊佐雄社には、11柱の開削協力者が祀られている。その後、昭和28年に宗教法人となり現在の神社等級は四級社である。

また、この地域には、約40か所もの功労者碑や用水開削碑が残されている。



明治川神社
安城市東栄町
(明治18年10月創建)

伊佐雄社



都築弥厚像
(安城市和泉町)

岡本兵松像
(安城市石井町)

伊豫田与八郎像
(豊田市軟部町)

石川喜平像
(安城市高棚町)